

市民の声を行政に問う

一般質問 14人が登壇

議会会議録はこちらで見ることができます。

- ◎地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎南九州市ホームページ

見出しの下に動画視聴のための QR コードを掲載しています。スマートフォン等で QR コードを読み取ると一般質問の録画映像がご覧いただけます。

入会林野整備事業

進捗状況と今後の方針を問う

市長／これまでどおり適正な許可業務を行う



西 次雄 議員

市道及び農道の路側に繁茂した雑草の対応は
市長／市道は計画的に除去、農道は受益者等において

西 入会林野整備事業の進捗状況と今後の方針を問う。

市長 平成28年4月から市で権限移譲を受け、29年度から耕地林務課内に入会林野整備係を新設し、

穎娃1組合、知覧1組合、川辺9組合が令和元年度までに全ての業務を完了している。

現在、係は廃止したが、昨年新たに川辺地域の2組合が設立され、業務を進めている。

今後、これもこれまでどおり適正な許可業務を行う。



幅が狭くなっている箇所がある。人口減や高齢化等で管理が困難になっているが、対応を問う。

市長 市道については、路側に堆積した土砂等で通行に支障が生じた箇所は、市で計画的に除去を行い安全確保に努める。

また、農道の補修については、砂利及び生コン等では、申請に応じ支給し、災害等の被災箇所は市で対応している。

通常の管理は受益者等で多面的機能支払交付金事業などを活用して農道の管理をお願いしている。

漁港管理

加治佐川からの土砂や流木の対応策を問う



市長／漁港の管理者である県に随時要望していく



米満 孝二 議員

けて、漂着物を確認し、漁業環境の安全確保のため、市でなるべく早く撤去を行っている。

米満 加治佐川に砂防ダムの建設を県に要望する考えはないか。

市長 砂防ダムは土石流危険渓流に設置される。二級河川は土石流危険渓流に指定されていないため、加治佐川の砂防ダムの建設は困難であると思われる。

その他の質問
・鹿児島国体の延期に伴う競技施設の維持管理等
・ヤンバルトサカヤスデに対する薬剤散布

二級河川 永里川

早急な寄洲除去を

市長／県へ要望していく



松久保 正毅 議員

松久保 永里川流域は7月の大雨で越水寸前まで水位が上がった。

寄洲に葦や竹などが繁茂し、水流を阻害して危険な状況にある。

早急な寄洲除去を県に要望する考えはないか。

市長 市内の二級河川は、県が市の要望を基に寄洲の堆積状況を確認し、緊急性の高い箇所から順次除去している。地元からの要望等を基に現地調査を行い、県に要望していく。

松久保 高齢化が進み、河川愛護作業が出来ない



自治会も増えている。市の所有するトラクターモア(草刈機)を活用して計画的に河川の整備を行う考えはないか。

市長 河川愛護作業は、河川を大切にし、安全、快適に利用できるよう自治会の皆様方に協力をお願いしている。

高齢化が進む中、地域の皆様には無理のない範囲で作業をお願いしたい。

消防団員の定数見直し

市長／再編計画を推進し、定数見直しにも考慮する

松久保 人口減少が進む中、自治会によっては消防団員の定数確保に苦慮している。

人口密集地の自治会も人口減少の自治会も現在の団員定数はほぼ同じである。



水位が上昇した永里川

米満 穎娃漁港の大川港は、加治佐川の河口にあり、大雨や台風等によって大量の土砂や流木が流入する。

県に撤去を要望していく考えはないか。

市長 大川港は、平成5年の8・6水害により堆積した土砂や流木の流入が年次的に相次いでおり、漁港の管理者である県に随時要望を行い、対処していただいている。

一方、県が対処しない少量の流木については、地元からの連絡などを受



大川港に流れ着いた流木等

コロナPCR検査

医療、福祉現場、保育所・学童などで働く市民への検査補助を



市長／県や南薩医師会と連携し、必要な支援を考える



大倉野 由美子 議員

防を市民へ啓発する。
大倉野 コロナ禍で、中小業者をはじめ、市民の暮らしはますます大変になる。地域経済の立て直しのために市の財政調整基金などを活用し、支援する考えはないか。

大倉野 新型コロナウイルス感染症は早期発見と防疫に繋がるPCR検査体制の拡大が求められる。医療、福祉、消防署、保育所など人との密を避けられない職場の希望者に検査費用の補助はできないか。

市長 9月議会でも地方創生臨時交付金を活用した各種の支援を予算化した。今後も国の支援や財政調整基金などを活用して支援を行う。



PCR 唾液採取

今後、インフルエンザ等を含めた検査の体制強化と併せて、コロナ感染症予

燃やすごみの減量化
市長／3R運動に取り組み

大倉野 本市の燃やすごみ減量化の現状と取り組みを問う。

市長 ごみの排出は増加傾向にある。3R運動などの燃やすごみを排出しない取り組みを推進する。

大倉野 新広域ごみ処理施設の建設予定地の高橋地区では反対の声がある。

市長はこの声をどのように受け止めたか。

市長 高橋の住民から直接要請を受けた。4市の組合議会で建設地は決めたものであるが、地域住民の不安を解消するため丁寧な説明に努めるものと認識している。

その他の質問

・核兵器禁止条約調印への要請
・通学路の街灯増設

通学路の整備・通学方法

通学路点検の実施状況は



市長／平成27年以降の状況をHP等で公表する



日置 友幸 議員

者より、自転車通学からバス通学へ切り替えを求める要望書が出ている。なぜだと考えるか。

教育長 雨の日や風が強い日などを考慮し、バス通学を希望されていると考える。文科省の手引きに沿って、教育的配慮から、6キロ以内の自転車通学生徒の一部をバス通学に切り替えることは現時点で考えていない。

日置 通学路の合同点検について、実施箇所と改善箇所の状況は。
市長 平成27年以降、延べ40カ所を点検し、29カ所が改善され、11カ所が事業実施中もしくは検討中である。

日置 実施状況を市HPで公開の上、保護者に伝えていただきたい。
市長 市民にわかりやすい公表に努めたい。

教育長 各学校を通してPTAに伝えるよう検討したい。
日置 一部地域の保護



自転車通学生の事故を受け、本年7月に合同点検を行った三差路（川辺町永田）

地籍図

名義人記載の進捗状況は



市長／記載方法など調整中



竹迫 毅 議員

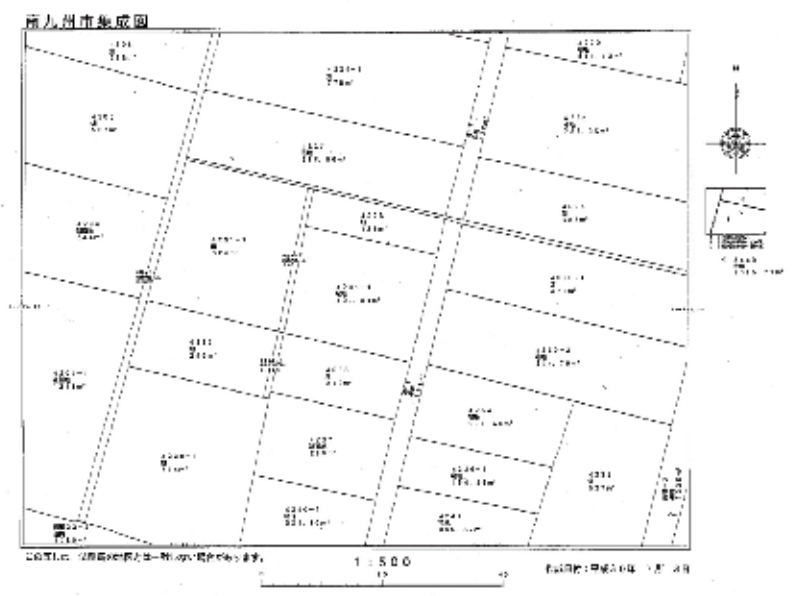
を行っており、もうしばらく時間をいただきたい。
竹迫 枕崎市では面積の小さい土地は、〇〇氏

竹迫

平成30年6月定例会で地籍図に登記名義人の記載をしてはとの一般質問に対して、31年（令和元年11月に更新したいとの答弁をしているが、進捗状況を問う。

市長 令和元年11月の地籍管理システム更新に合わせて記載したいと答弁している。

地籍管理システムのバージョンアップは、予定どおり行ったが、登記名義人の記載は、共有者名義となっている土地、狭小な土地の記載方法などの調整



地目と地積を記載した地籍図

農作物

病害虫・有害鳥獣被害への今後の対策は



市長／被害軽減に努める



吉永 賢三 議員

吉永 県内でミカンコミバエの発生が報道されている。市内の被害状況と今後の対応を問う。

今後は、侵入警戒対策として、トラップ調査を来年度5月まで継続していく。新たな誘殺が確認された場合、テックス板を増設し防除対策を行う計画である。

吉永 農作物の鳥獣被害が増えている。本市の捕獲実績と今後の対策を問う。
市長 捕獲実績は、イノ



ミカンコミバエのトラップ調査

その他の質問

・河川愛護作業

災害対策

河川や急傾斜地に近い避難所を見直す考えは



市長／災害の種類により選択している



取違 博文 議員

取違 市内67カ所の指定避難所のうち、河川や急傾斜地に近い避難所を見直す考えはないか。

市長 開設する避難所は、災害の種類により選択している。

しかし、近年の災害の大規模化や新型コロナウイルス感染症などを考慮することが重要と捉え、検討すべき課題と考える。

取違 自主防災組織の活動状況を問う。

市長 222組織が結成され、それぞれが年間計画による防火、防災訓



練に取り組んでいる。自主防災組織のリーダーを対象に防災知識の普及啓発と防災意識高揚の学習活動を実施している。

取違 自主防災組織と関係機関との連携はどのように行っているのか。

市長 民生委員や自治会長の協力により、本人承諾のもと要支援者名簿を作成し、消防署及び警

察署へ情報提供することで災害時の避難支援に備えている。

今後の茶業活性化策は

市長／健全な茶業経営と力強い産地づくりを推進していく

取違

お茶価格の低迷と新型コロナウイルス感染症の影響により、茶農家の経営が圧迫されているが、今後の茶業活性化策を問う。

市長 令和2年度の1番茶・2番茶の生産額は対前年比74パーセントと過去に例のない厳しい状況であった。来以降も継続して生産活動ができるよう6月補正で生産者に、9月補正で茶工場の経営継続に対する支援を行う。

今後の活性化策としてSNS等による知覧茶の情報拡散など「新しい生活様式」の実践を意識した取り組みを進めていく。

その他の質問

・サツマイモ生産農家に対する支援策
・河川対策

災害対応

災害復旧への取組みは



市長／迅速かつ適切な復旧に努める



上赤 秀人 議員

上赤 農地及び農業用施設の災害対応を問う。

市長 国の公共災害への申請要件は、降雨量が時間20ミリ以上、24時間80ミリ以上であること、工事復旧費用が1カ所あたり40万円以上あること、施設の場合は受益戸数が2戸以上あることなどが対象である。

しかし、要件を満たしていても、維持管理不良が要因となるものは対象外である。

また、要件に該当しない公共性の高い農業用施設



氾濫した高取川

災害ごみの対応は

市長／市が設置する仮置場へ搬入

上赤 災害ごみについての対応を問う。

は、市で対応していく。農地は、個人財産であるため、所有者による復旧となる。

また、災害廃棄物の撤去・収集・運搬及び処分については、専門業者等との協定締結が必要と考えている。

その他の質問

・河川内の障害物除去



高取海岸清掃

種苗法

種苗法に伴う本市の農作物への影響は



市長／在来種・一般品種は今後も自家増殖できる



内園 知恵子 議員

特にさつまいもについては、ほとんど在来種や一般品種で、今後も自由に自家増殖でき、農家への影響はないと考える。

小人数学級の推進は

教育長／国に対し要望している

内園 コロナ禍のもとでの学校のあり方として、身体的な距離の確保等、子ども一人ひとりを大切に小人数学級を推進する考えはないか。

教育長

小人数学級は、子どもたち一人ひとりに目の届いた学習指導や、きめ細やかな生徒指導が期待できる。本市も国に対し、さらなる通常学級の小人数化を要望している。

その他の質問

・新型コロナウイルス感染症対策

内園 種苗法改正案は、農家の自家増殖を制限する等の課題があり、農業を基幹産業とする本市において影響が大きいと考える。市としての見解を問う。

市長

種苗の「知的財産権」が強化される一方で、農家の次期作用の種苗として利用する「自家増殖」が制限されるのではとの心配もある。しかし、今回の改正は、登録品種の海外流出の防止と、育成者の権利を保護するための見直しである。



授業の様子（霜出小）

まちづくり

本市の魅力を発信する施策を問う



市長／移住定住情報の内容充実に努める



大倉野 忠浩 議員

市長 市民自ら本市の魅力を発信するための市民向けの写真撮影・SNS講座を開催している。移住希望者にそれぞれの段階で、様々な支援が行えるようホームページでお試し居住や求人情報等の内容の充実に努めている。

地方創生臨時交付金

市長／使途に応じた計画を策定し、9月補正で予算計上

大倉野

どのような事業が実施され、どのような成果が見込まれるか。

市長

衛生環境・空調設備の整備、マスク・消毒液等の確保による感染防止対応、また、各種補助金・助成金により法人や個人事業主の事業継続、雇用維持が図られる。

大倉野

全国812市区を対象にした「住みよさランキング」の結果を分析し、今後のまちづくりに活かしていく考えはないか。

市長

2020年の本市の総合評価は、全体で429位にランキングされている。結果については、市総合戦略の効果検証を行うための指標の一つに設定するなど「まちづくり」に活用している。

大倉野

移住希望者に対する本市の魅力を発信するための新たな施策を問う。



市民向けの写真撮影・SNS講座

農業振興

新規就農者へのさらなる支援策を



市長／育成、確保に努める



西山 一 議員

め役となって、集落営農化や法人化を推進していく考えはないか。

市長 これまでも県をはじめ関係機関と連携しながら、農業法人を志す農家を対象に研修や相談会を毎年開催している。今後、集落営農及び法人化等の相談に対しては、関係機関と連携して設立支援を行い、組織の育成・強化に努めていきたい。



研修生の活動状況

蔵元

本市の移住定住に係る現状は。



蔵元 慎一 議員

活や働き方を考え直す人が増え、地方移住への動きが広まっている。

政府は、地方創生の「まち・ひと・しごと創生基本方針」において、東京一極

その他の質問
・高齢者の運転免許証自主返納への支援



移住定住促進の新たな施策を

市長

コロナ禍の中、生

市長 移住定住促進対策補助金の交付は、過去5年の平均で年間当たり新築64件、中古住宅13件、リフォーム5件の利用となっており、中古住宅への利用は減少傾向である。
蔵元 新型コロナウイルス感染症により、ライフスタイルの大きな変化を余儀なくされている。この状況を機に移住定住の新たな施策を講じる考えはないか。

災害対策

防災マニュアルの見直しは



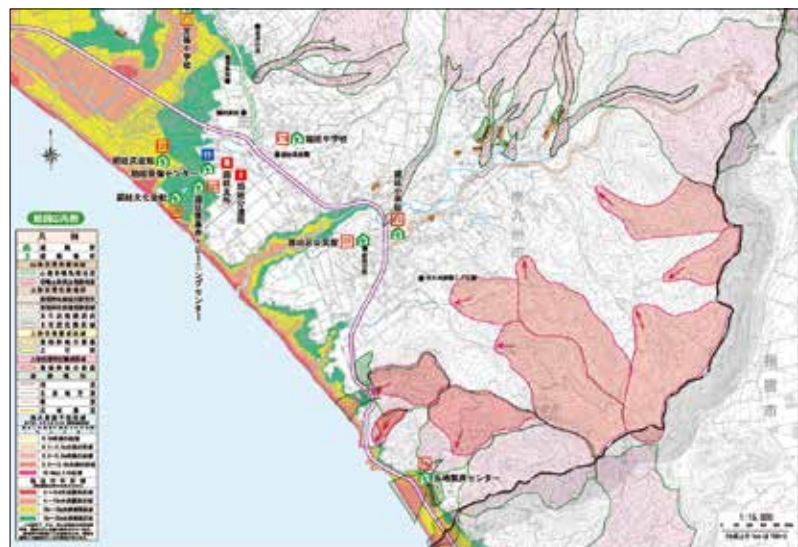
市長／ハザードマップの見直しを行う



浜田 茂久 議員

のための体制構築を問う。
市長 コロナ禍における避難の情報提供を行うており、今後も、国の対策等を注視しながら避難所

確保、装備品の充実を図り、市民の安心安全の確保を行う。
浜田 災害に対する危機意識の低下防止と維持を図るための取組みを問う。
市長 自主防災組織による訓練、出前講座やリーダー研修、災害に対する備え、防災知識の普及啓発など防災意識の高揚を図る取組みを継続的に行う。



ハザードマップ

訃報



大久保 太智 議員

大久保太智議員が令和2年9月6日にご逝去されました。

一昨年10月、突然の病が発覚してからも病と闘い、地域のため、子どもたちのため、南九州市の未来のためにご尽力してこられました。

心よりご冥福をお祈りいたしますとともに謹んで哀悼の意を捧げます。

南九州市議会議員一同



次の議会は
12月8日(火)開会予定

12月定例会

12月8日	本会議（開会）	補正予算等質疑・委員会付託、一般質問
9日	本会議	一般質問
10日	本会議	一般質問
11日	常任委員会	補正予算等審査
22日	本会議（閉会）	補正予算等採決

◆議会中継◆ ライブ中継は市ホームページまたは各支所ロビーでご覧いただけます。録画中継は、議会当日の3日後くらいから配信となります。